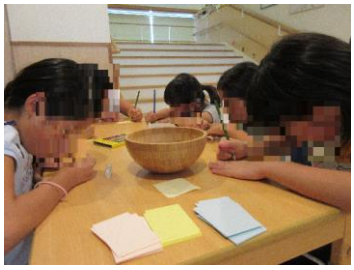
かえでゆうびん　9月号

平成２９年９月１日
社会福祉法人　清松学園
かえで保育園
園長引地美津代

今年の夏は、関西方面はうだるような暑さでしたが、関東方面は２０日以上雨が続き、野菜・果物だけでなく家にカビが生えたり、キノコが都市の公園に生えたり・・狭い日本でも気温差が大きく、世界で見ると洪水や干ばつ…年々異常気象の状況が深刻になっているように感じます。
先日のミサイル発射、集中豪雨など自然災害や人的災害などますます、安全が保障されにくくなってきています。お子様をお預かりしているときの安全の確保、何かあった時の対応など、危機管理をしっかりと構築し、安心・安全の中での生活を確保していきたい思い、マニュアルの見直しや、災害時の対応も徹底していきたいと考えます。今年度は、保護者の方々の緊急連絡の確認も含めて引取り訓練も行う予定としています。どうぞご協力ください。
　先日から、研修に出かけ、ある講師の方の話で、幼少期のご自分の体験談をもとに受容する・されることの体験話が印象に残りました。
幼い時から、祖父母に育てられ、なぜ両親がいないかも聞かされず、あまり裕福ではない家で過ごしていた時、自分はいなくてよい存在だと自分で決めて過ごしていたそうです。でも一つだけ育ててくれていたおばあさんが、顔を見るたびに「いてくれてありがとう」を繰り返し言われていたそうです。初めは、「心にもない言葉をいわれても」とあまり気にかけずに過ごしていたけれど、毎日歌のように「いてくれてありがとう」。と繰り返し言われているうちに自分自身の心が自分がなくてよいから、なくてはならないにかわって行くことに気づいたそうです。それには長い年月がかかっていたそうですが、決して甘えられたり、優しく抱いてもらった記憶はないけれど「いてくれてありがとう」という言葉はずっと今でも耳に残り心にも残っているそうです。子どもたちは、無垢で何の損得も思わず、毎日一生懸命生きています。保育園での自分・お家での自分・さまざまな人の中の自分・どの様に過ごすか、どのように考えるか、その時の心で感じて自分を出しています。
できれば、自分の存在がかけがえのないもので、大切な存在…と思って過ごしてほしいと強く思います。
いたずらや喧嘩、よい行動ではないことをしてしまう子どもの心情を考えると、そこから抜け出したいけれど一人では這い上がれない状況のお子様だからこそ心の援助が必要となると感じます。
大切な時期を自らを大切だ・・と思って過ごしてもらえるよう日々子どもの声に耳を傾けていきたいと思います。



　さて、８月の終わり、待ちに待った同園会を無事に開催することができました。卒園生６０名中５１名の参加がありました。(みんなよく来てくれました！！)１０時前からみんなちょっと照れくさそうにインターホンを押し(インターホンが新しい液晶になったので顔が鮮明にわかります）受付もちょっとわざとめんどくさそうに名前を言ったり・・１０時過ぎにランチルームで挨拶をし先生たちで今日の日を心持にして準備していた話をしました。そして、小さな時に言っていた『がんばるぞーエイエイオ！！』って始める？と聞くと「みなで楽しみましょう。宜しくお願いします。」とさらりとした挨拶を交わし、スタートとなりました。園庭でのそうめん流しの竹でのゼリー流し、夏祭りの際に行ったオリニギリをグループに分かれて楽しみましたが、意外と折れなかったオリニギリ・・ワイワイ言いながらもあっという間に時間がたってお昼になってしまいました。在園中、園外に出かけた際にはごみは持ち帰る・・を守り食べた後のごみも持ち帰ってくれそうなお子様もいました。、最後にごみを片付けてにこやかに終了しました。遠くの広島からこの２時間のために来てくださったり、用事を返上しながらでも、ご参加くださった卒園生と保護者の方々に感謝し、また来年の企画をさせていただきます。皆さんありがとう！！

にこにこメッセージ♪

今夏も「お手伝い保育」にたくさんの小学生が来てくれました。夏休み中に １ 年生は２回、２年生以上は１回来てもらっています。希望があれば何回でも来てもらいたいと思っていますが、食事や保育人数の関係上、残念ですが回数を決めさせてもらっています。乳児クラスのお手伝いをしてくれるときには、小さな子の目線に合わせて話しかけたり、聞いてくれたりする姿が見られました。また、久しぶりの泥団子作りに夢中になる子、ままごとコーナーの着物を見て「まだ着れるかなー、着れる着れる！！」と袖を通し、大はしゃぎする子、誰よりも楽しそうに遊ぶ子を見ていると、一人ひとりの成長した姿を感じながら、ほほえましくなりました。４年生の女の子は、「かえで保育園に来るとほんと楽しいわー、毎日来れたらいいのになー、小さい子ってほんとかわいい」と話してくれました。卒園児の子ども一人ひとりにとってやすらげる場所、「ふるさと」であればよいなと思いながら、これからも大切にしたい行事のひとつです。

主任保育士　藤森　寿美

せんせいからのおはなしコーナー

先日、お盆休みを利用して実家のある金沢に帰省してきました。実家を出てから早いもので６年目となり、６年前不安とクワクとでドキドキしていた自分が懐かしく感じます。最近では金沢にも新幹線が開通し、全国的にも話題となってきました。それもあってか帰省する度に、駅周辺の人の多さ、外国人観光客の多さに圧倒されています。駅のホームが自動改札になったり新しい店やマンションも次々と建ったりと、高校時代では想像もつかなかったほど便利な街になってきています。しかしその一方で行きつけの店がなくっていたり、大好きだった公園が住宅街になっていたりと地元から離れていた６年間でさまざまな物が変化してきました。ふるさとだけど、どんどん知らない街になっていく、、、そんな感じがして少し寂しさも感じます。それでも帰省すれば親戚、友人、近所の人たちは昔から変わらない温かさで迎えてくれます。最近では関西弁にすっかり染まりつつある私ですが、実家に帰るとあっという間に金沢弁に戻ります。街の姿はどんどん成長していますが、人の温かさはいつまでも変らず私を優しい気持ちにさせてくれます。そんなふるさとがあることは素晴らしく大切にしていきたいと改めて感じた夏でした。

高田　奈沙

～　めばえ・ふたばからのお願い　～

- プール遊びは終了しましたが、シャワー用のタオルは引き続き、ご用意をお願いします。
- 持ち物への名前のご記入をお願いします。
- 友だちとのやり取りが増えてきました。爪の点検は細目に行って下さい。

～　つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからのお知らせ・お願い　～

- プール遊びは８月いっぱいで終了です。９月は毎週木曜日に体操がありますので体操服のご用意お願いします。
- シャワー用のタオルはロッカーにご用意下さい。
- 園外保育（散歩）に出かける機会があります。靴のサイズ、名前の記入の点検をしてください。
- 挨拶する習慣をつけています。みんなで気持ちの良い挨拶をしましょう。

～めばえぐみ～

ねらい：「たくさん動いて面白いものを見つけよう」
う　た：「どんぐりころころ」「ココハトウチャン」「チョチチョチアワワ」
暑さも本格的になり、体温調節が難しく体調が優れないこともありましたね。数回の水遊びでしたが子どもたちは経験して、水と触れ合うことが“楽しい”と感じてくれました。歩くのもしっかりしてきました。今月はどのような探索活動をしてくれるのか楽しみです。しっかりと手足を使って身体を動かしバランス感覚を養っていきます。

お部屋が新しく変わりました！

保育園の各お部屋は子どもたちが毎日過ごす“お家”と考えています。安心できる場所にするためには…毎日登園してきて、同じ場所に同じ玩具があるということを大切にしています。そのお部屋を今回、新しく変えてみました。入園当初は、はいはいをしている子どもがほとんどで、保育者が常に見え、安心して遊べるような環境にしていました。４か月が過ぎ、保育園の生活も慣れ、つかまり立ちや伝い歩きを楽しみ、よちよち歩きができるようになっている子どもたちも増えました。遊びも“先生と一緒”から“あれなあに、これなあに”とお部屋にあるものに興味を持ったり、一つのおもちゃに夢中になって遊ぶことができるようになりました。様々なことに興味を持ち、個々に“好きな物”であそぶ時間が増えてきました。そこで、まったりと過ごすスペース、じっくりと遊ぶスペース、身体を動かすスペースと３つの空間に分けました。この環境でそれぞれが自分の思いでゆったりじっくり遊んでくれることを楽しみにしています。

“新しいおもちゃに興味津々”

じっくりとあそぶスペースには、以前から使っているおもちゃに加えて壁面の手作りおもちゃを入れました。ボールが転がったり、ホースをたどって下からおもちゃが落ちてきたり、マジックテープのおもちゃがあったりと“つかまり立ち”をしてあそぶおもちゃに夢中の子どもたちです。おもしろい物をみつけると全身に力を込めてつかまり立ちをしています。はいはいをしているときとは違った部分を動かすことで身体にもたくさんの刺激を感じて、自分で動く楽しさも出てきたようです。

“担任の思い”

今の子どもたちにとって「一番心地の良い空間作り」を作れるよう環境作りをしています。夏の水に触れるあそびをたくさん経験したからこそ、じっくりとあそぶおもちゃに興味をもってくれるようになりました。今の時期は、「先生とあそぶ」「一人であそぶ」ということが中心です。お友達が大好きだから一緒にあそぶ、というよりも、このおもちゃであそびたい！…その隣に偶然お友達がいたという姿です。この繰り返しからお友達に興味を示し、〇〇くんということに繋がります。先生やお友達と笑い合って人と関わることの楽しさを感じてほしいです。

足立　真裕子・須藤　聖美・林　千紗

～ふたばぐみ～

ねらい「感触遊びや身体を動かすことを楽しむ」
うた：「とんぼのめがね」「キャベツの中から」　　わらべうた：「アシアシアヒル」「ここはてっくび」

今年の夏も暑い日が続き、気温やそれぞれの体調に合わせて、休息・水分補給なども取りながら保育を進めてきました。プール遊びでは思いきり水に触れることを楽しみ、保育室ではゆったりと過ごす時間も大切にしてきました。机上でじっくりパズルをしたり積木を夢中になって取り組む姿も増え、そのなかでの友達とのお話ややり取りを楽しむ姿も見られるようになってきました。保育者の見守りのなかで、さらに友達との関係を深めていってほしいと思います。

～だいすきなプール遊びや虫探し～

７月末から始まったプール遊びも、今では水しぶきが上がるほどダイナミックに遊べるようになりました。「水着に着替えようね」と誘うと、楽しみで仕方ない！といった様子で自分の水着を見てにっこり。シャワーをかけてもらうだけで大喜びなふたば組の子どもたちです。

プール遊びと同じくらいに子どもたちが夢中になっているのが「虫探し」です。少し前までは「ミ～ンミ～ン♪」と聞こえるだけですぐさま木の下に駆け寄ってセミを発見！！お兄ちゃんお姉ちゃんに網でとって見せてもらったり、先生に抱っこしてもらって触れてみようと挑戦したりする姿が見られました。春の頃はダンゴムシを触るのもなんだか怖い…とちょっぴり怖がりなふたばぐみの子どもたちでしたが今ではとてもたくましくなってきたなと感じています。

～あるこー♪あるこー♪～

友だちとの関わりが更に増えてきたふたば組みの子どもたち。お話も上手になってきて「〇〇くん、〇〇ちゃん」と名前を呼び、「いっしょにあそぼ～」と遊びに誘う姿もたくさん見られるようになってきました。ある子とある子が手を繋いで「さんぽ」を歌っていると「い～れ～て」とどんどん仲間が増えていき「さんぽ」の大合唱が始まることもありあます。これからも子どもたちの関わりがどのように深まっていくか楽しみです。

“担任の思い”

８月は、お兄さんお姉さんと一緒に園庭で蝉取りをしたり、プール遊びでクラスの友達と一緒に水を掛け合って嬉しそうな表情を見せたりと、保育者以外の人との関わりを楽しむ姿がよく見られたように感じます。個人の活動も多く見られますが、クラスとしてまとまった活動をする時間もとれ、友だちを意識することが増えてきたふたば組の子どもたちです。友達の名前を呼べるようになったり、お話をして楽しそうに笑い合ったりする姿も増えてきました。遊びの中でも友達の事を考えて遊んだり、友達を思いやれる気持ちが育ってくれるよう見守っていきたいと思います。

西口　智子・木下　明友美・星加　由美子

～つぼみぐみ～

ねらい：「人との関わりのなかで“ありがとう”や“ごめんね”の気持ちを言葉にする事を知る」
う　た：「とんぼのめがね、おてらのおしょさん」

８月は小学生のお手伝い保育に来てくれたお兄さんやお姉さんが来てくれたので、つぼみ組さんも園庭でかけっこなどで遊んでもらい、大喜びで「また来てくれるかな？」と嬉しそうに話していました。

また、８月のプールあそび始めは顔に水が掛かるのが怖かった子どもたちも、足でバタバタと遊び、水しぶきを浴びてもへっちゃらになりました。ウサギやワニなどの動物になりきって泳いだり、始めての大きなプールでしたが、とても楽しんで遊んでいました。

“スタンプあそび”

お部屋の前に飾っていた風船がしぼんで「風船、ちいちゃくなっちゃったねえ。」と話す子ども達。何かあそびに使えないかと考え、いろいろな素材を使ったスタンプあそびに挑戦しました。三角、四角の形にした段ボールや、コルク、ゼリーカップなどのたくさんの素材を出すと、絵の具を付けてペタペタとスタンプをし始めました。

「これは丸！」「これ三角の形？」などスタンプしながら形の違いにとても興味をもっていたり、コルクや風船をコロコロ転がして違う形のスタンプを楽しんだり…。いろいろな工夫をしながら遊ぶ姿が見られました。

色や形への興味がどんどん出てきているため、様々な絵画あそびも楽しんでいきたいです。

“あわあわ　大好き！”

７月から始めた泡あそびですが、「お洗濯しようかな。」と声を掛けると、赤ちゃん人形の洋服やよだれ掛けなど自分たちで洗いたいものを選んで、園庭に持ってきます。「せんたくねこさん」の絵本を思い出して、「優しくもみ洗いする！」「たたき洗いしてみたい！」といろいろな洗い方にも挑戦しています。洗濯ばさみではさんでいくのもとっても上手になり、お部屋の洗濯コーナーにも、毎日たくさんの洗濯物が干されています。

“担任の思い”

７月からランチルームでの食事が始まったことをきっかけに、幼児クラスの子どもたちとの関わりが増えたり、お手伝いに来てくれた小学生と一緒に遊んだり、また最近では保育者のお手伝いをしてくれようとしたりなど、今自分以外の“ひと”に興味がいっぱいのつぼみ組。赤ちゃんのお世話ごっこや、洗濯ごっこを通しても、よくお母さんやお父さんの姿を見ているんだろうなあと感じることがあります。今はごっこ遊びなど、さまざまな遊びを通して、いろんな人の真似をしてみたり、その遊びの中で、子どもたちが気付いた瞬間や、つぶやきを拾いながら、遊びに繋げていきたいです。

林　奈津美・立田　英怜菜

～いぶきぐみ～

ねらい：「発見したことをお友達と一緒に喜ぶ」

う　た：「うちゅうせんにのって・むしのこえ・とんぼのめがね」

　暑い夏にはプールがぴったりで、みんな気持ちよさそうに入っていました。たくさんプールに入ることが出来たこの夏は、入る度に自分でも支度できるようになってきました。だいちさんに傍で見守ってもらいながら自分で服を畳んだり、タオルをカゴに入れたりと頑張っています。他にもおやつの牛乳を入れたり、トイレの後に自分でお尻を拭いたりなど、だいちさんや先生にやってもらっていたことも自分たちでやってみるようになりました。

“いっしょって楽しいね”

　プール大好きないぶきさん。最近は前までは見られなかった光景が見られるようになりました。「ねえねえ、一緒にもぐろ！」「だれか引っ張って」とお友達に声を掛けて、一人ではなく“お友達との”プールを楽しんでいます。せーのでもぐり、一緒に顔を上げると「もういっかい！！」ともう次の準備をしています。水の中でお友達に出会う楽しさやその楽しさを共有する喜びを感じていました。少しお水が怖かった子もお友達と一緒なら…と勇気を出して顔を浸ける子もいましたよ。

　また、以前はワニのように足を伸ばした状態で先生に引っ張って貰っていたのですが、最近はお友達に引っ張ってもらうようにもなりました。「誰かやる人～？」と声を掛ければ「やりたい！」とお願いする子がやってきて、体をお友達に預けます。一見簡単そうに見えますが、先生に引っ張られるのとお友達に引っ張られるのでは安定感も違い、安心していないとできません。完全にお友達に体を預けることが出来るみんなは、相手を信頼し合っているのでしょうね。

“ゴーヤの種”

　園庭のきゅうりの隣にあるゴーヤ。最近はゴーヤの実が付いていて「きゅうりや！」「ちゃうで、ゴーヤやで」ときゅうりではなかったことに新たな発見。また、ゴーヤが熟れて割れてしまうと、中から赤い種が。すると「これ、図鑑でみた！」と持っていた図鑑を開きだしました。たしかに熟れたゴーヤの写真が載っていて、「あった！おんなじや！」とみんな大興奮！文を読んでみると「種を乾かしてから封筒に入れて、来年に蒔こう」とありました。早速封筒を持ってきて種を乾かし始めました。目の前にある得体の知らないものが図鑑で調べることによって何かが分かる、という発見した嬉しさを体験し、より一層興味が続いていくのではないかと思います。

“担任の思い”

　少しずつお友達と一緒が楽しい、嬉しい、という気持ちが芽生え、自然とお友達を誘うことが増えてきました。同じことをやるのでも、一人のときよりみんなとの方が喜びが大きくなると感じているのですね。一人ひとりの力も伸びてきて、これからみんなの力が集まってどんな発見に繋がるのだろうと私自身ワクワクしています。　　谷角早紀

～ひかりぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に遊ぶことを楽しもう」

うた：「うたえバンバン」

今年の夏はあまり雨が降らず、汗ばむような暑さが続く日が多かったですね。プール遊びでは繰り返し入する中で、「お日様が光って水の中きらきらしてた」「みんな見て！虹が見えた」「揺らしてみたら大きい波ができた」と水の中で見える景色を先生やお友達に話してくれました。セミ取り、水遊び、泥遊びと毎日全力で遊ぶひかり組と一緒に楽しみたいと思います。

“念願のトマト収穫”緑のトマトはどうする？

いぶきさん、だいちさん、先生にも食べさせてあげたい　やっと赤くなった。トマトの歌　赤くなったのだけね　これはとってもいいけどこれはまだ赤ちゃん

５月から育てていたトマト。園庭に出ると「大きくなってるかな～」「あ！小さいのができてる」と鬼ごっこや水遊びをしながらも少しずつ大きく育つトマトを観察していました。だんだん実が大きくなるを楽しみにしていましたが、大きくなるにつれてぽとぽと緑のトマトが落ちているのを見る発見。幼い子が取ってしまったと聞くと「いいのいいの」と話ながらも「でもちょっと悲しいな」と子どもたちで話し合う中で「どうしたらいいかな」「取ったらだめだよって描いてみる？」と子どもたちの提案から絵を描くことになりました。トマトの絵を描いたり「怖い絵描いたら取らないかな？」と鬼の絵を描いたりといろんな絵を描いていました。「字だけだったらめばえさんとか分からないから絵にしてみる？泣いてる絵とかね」と子どもたちでどうしたら分かりやすいか話し合いながら描いていました。その後も落ちた緑色のトマトは食べられるかな？と図鑑で調べてみたり、「みどりはまだ赤ちゃんだから食べられないかな」とちょうどその時に捕まえた青虫に上げてみると食べてるよ！と小さく食べた後が。今は早く赤くならないかな～と園庭で遊びながら様子を見ています。

“今日はみんなで〇〇しよう！”

朝のお集まりが終わると「先生！みんなで椅子取りゲームしたい！」「この間した伝言ゲームしよう！」「じゃあひかりフリールーム集合ね！」と園庭に出る前子どもたちで決めています。音当てゲームでは、カウベルの楽器（金属の打楽器）を使って低い音の時は椅子の周りを回る、高い音の時は近くにある椅子に座るとルールを決めて遊び始めます。楽器を鳴らす子、椅子取りゲームに参加する子、お客さんとして応援する子と様々ですが音のリズムを変えると走ったり　ギャロップをして身体を動かしていました。近くにあった椅子がお友達に座られてしまうと「あ～もうちょっとだったのに～」と悔しがりながらも「頑張れ～！」「今高い音だから座って～」と応援隊として最後は大盛り上がりでした。

“担任の思い”

子どもたちから見る園での景色はいろんな発見があり、私自身も日々子どもたちから学んでいることがとても多いです。水遊びや泥遊び、虫捕りと自然を通して季節を楽しむことができるよう引き続き取り組んできました。子どもたちの中で一緒に遊びたいことから、いろんなアプローチをする姿が見られるようになってきました。お互いに言葉で話すことで分かりあい、一緒に遊ぶ楽しさを知るきっかけにもなっているようです。時には思ったことを子どもたち同士で伝えるのが難しいときもあります。子ども同士で話をしてお互いの気持ちに気付くことが出来るよう見守っていきたいと思います。

日笠　加菜

～だいちぐみ～

ねらい：「仲間の大切さに気付く」「頼られる喜びを味わう」

う　た：「きっとできる」

８月は色水を使った混色あそびや園庭での水あそびなど、暑い夏ならではのあそびを楽しみました。外が暑い時にはひやりん（水）を飲みながら涼しい玄関で一休み…といった知恵も働かせながら乗り切る子の姿もありました。

また、室内ではかるたの読み手を誰が担当するのか、お手つきの判定など友だちと言葉を交わしながらあそびを広げていく場面もあります。夏休み期間中の小学生とのふれあいから、小学校への憧れを高めているだいちさんもいました。９月はだいちさんが春から楽しみにしていためばえふたば組の“お手伝い当番”が始まります。幼児クラスとはまた少し異なる乳児さんとの関わりの中で、どのような姿が見られるのか楽しみですね。

“おねえちゃん、みててね”

夏野菜が昼食の中にもよく登場しますが、８月はへたの部分を使って野菜のスタンプを楽しみました。園庭や室内で自由にあそびを選ぶ環境の中の一つとして用意すると、クラスに関わらず「やりたい」一人、二人とにこにこ広場に集まり、人数が多く入りきれなかったため順番に行うことにしました。

いぶき組のＡちゃんがスタンプをする隣に座ったＢちゃんは、自分の番が来るのを心待ちにしていました。Ａちゃんが野菜にインクをつけて紙にぎゅっと押し付けます。隣にいたＢちゃんもＡちゃんの様子をじっと見守り、「上手にできるかな～？」と優しく声をかけていました。力をこめて押した後、“どうなってるかな…”といった様子でそうっと野菜を持ち上げます。そして紙に写った野菜の形を見て驚いた表情を見せたかと思うと、２人顔を見合わせていました。「できたね」「面白い形だね」「きれいだね」「楽しいね」実際に言葉に出したわけではなくＡちゃんもＢちゃんもただただ互いの顔をじっと見ていましたが、２人の間には確かに伝わるものがあったのだと思います。

その後だいち組のＢちゃんは別の子と会話を楽しみながら待っていたのですが、Ａちゃんの中では先程のお姉ちゃんとのやりとりが心に残っていたようで、一つスタンプを押すたびに「ねえ見て、Ｂちゃん！」と話に夢中になるＢちゃんに自ら声をかけていました。“こんな形ができたよ”と知らせたり、嬉しい気持ち楽しい気持ちを一緒に共有したかったのだと思います。もちろんすぐ傍で保育者も見守っていましたが、それよりもお姉ちゃんに見て欲しい！と思えたのは、Ｂちゃんが気持ちに寄り添い一緒に感じてくれたことでＡちゃんの心に芽生えた気持ちではないかと感じました。

“みんなと一緒に”

だいちさんで集まった時に、運動はっぴょう会のことが話題に出ました。「どんなことがしてみたい？」と尋ねてみると、「鉄棒！」「逆立ち」「跳び箱」一人ひとりが今まで取り組んで来たことが沢山出てきました。小さな“できた！”の積み重ねが、だいちさんの自信や誰かに見て欲しいといった気持ちに繋がっているのだと思います。そしてもう一つ、今のだいちさんにとって必要だと感じていた“仲間の存在を感じること”自分自身の少し苦手なことに挑戦することも大きな成長ですが、１６人全員で何か一つのことに向かって力を合わせる経験を大切にしたいと考えました。だいちさんの中には今まで歴代のだいち組が行ってきた組体操に対しての憧れが強く残っているようでした。更にもう一つ、大縄への挑戦も候補に上がっています。（※今のところ、保護者の方には秘密という話になっています）これから友だちと共に様々な想いを経験し、どのような姿を見せてくれるのか楽しみです。

“担任の思い”

友だちと一つの目標に向かい力を合わせる中で、心が通じることも自身とは違う思いに葛藤することも、今後の生きる力に大きく影響してくる大切な時間だと考えています。お迎えに来られた時やご家庭でのやりとりの中で、お子様の想いに心が震えるようなことがあるかと思います。そんな時はぜひ、一緒に感じながら長い目で見守ってあげてください。だいちさんの大切な仲間だということを一人ひとりが感じながら過ごし、“葛藤”を一緒に乗り越えていける仲間に成長していければと思います。

河本　彩奈

保護者の方からのおはなしコーナー

つぼみさんになってからお友達とのかかわりあいを家でも話してくれるようになり、「～ちゃんが今日～をくれたよ」など楽しそうに教えてくれます。園で習った歌を歌いながら「お母さんも一緒に歌って！」と言われますが、歌えないこともしばしばです。一緒に歌えるようにしたいです。

つぼみ組　なつこさん

昨年はプールで顔を水に浸けることが出来なかった娘。今年は顔を水に浸けることもでき、お友達と楽しそうに遊んでいる様子を写真などで見て大きくなったな～と思う今日この頃。
言葉もいつの間にか上手に話せるようになり保育園で覚えた歌を毎日歌ってくれます。会話が成り立つことに成長を感じます。

つぼみ組　ともみさん

髪の毛を結ぶのが嫌いで、毎朝、結ぶのを嫌がります。「じゃ、切ろうか」というと、それも嫌のようで、あれこれと試行錯誤して結んで行きますが、それでも保育園で遊んでいるうちにとってしまって、ヘアゴムも何個も行方不明になってしまいました。
最近の約束は「取ったらヘアゴムはポケットかお着替えの袋かロッカーに入れること！」と言い聞かせています。
帰ってきてちゃんとヘアゴムがあったら、すごいドヤ顔をして「ほら、ちゃんと持って帰ってきたで」と言うので「すごい！ちゃんと約束守れたね！」とほめちぎりますが、それを当たり前にやってほしい、と思っているのは内緒です。

いぶき組　えみさん

娘は保育園で借りた絵本を家で大きな声で読んでいます。絵本に書いてあるとおりに読むのではなくて、自分でお話を考えて読んでいる様子。どこからそんなにすらすらお話が出てくるのか不思議ですが聞いていてとても面白いです。

ひかり組　りこさん

いつも家ではお姉ちゃんにお世話されてばかりの子が、園ではお友達に帽子を被せてあげたり（自分の靴もちゃんと履けないのに）お友達に靴を履かせてあげようとしたりお世話をしていると先生から聞き、そんな一面があるのだと驚きました。思いやりのある子に成長してほしいと思います。

ふたば組　ゆきさん

最近、園庭では大縄跳びをしえるようで、この間見せてもらったところ 20 回以上続けて跳んでいてとても驚きました。私の知らないところで小さな子のお世話も頑張っているとのこと。心も身体も大きく成長しているのだなと思いました。

だいち組　さやかさん

入園当初はハイハイしていた息子も今ではしっかりと歩くようになりました。園庭でも室内でもとにかく歩き回って忙しく遊んでいるようです。毎日いろんな発見があるようで、お迎えに行くとそれを指さして「お！お！」と言って教えてくれます。

めばえ組　みきさん

～お台所から～

残暑が厳しい毎日が続いていますね。
お盆期間でお休みしていた子ども達も元気に登園し、保育園の中はいつもの活気が戻りました。お休み中のできごとを一所懸命話してくれる姿に心も体もひと回り成長したように感じ嬉しく思います。９月もあつい夏のケアと元気いっぱい過ごせるように旬の食材をたくさん使った美味しいご飯を提供していきます。

８月の食育活動

“きゅうりで浅漬け作り”

ようやく食べごろになったきゅうり。「見て！こんなに大きいの」「今日のお昼ごはんに食べたい」とお料理の部屋に持って来てくれました。

よし、さっそくチャレンジ。
包丁上手に使えるかな。
お友達がやっているときも真剣な眼差しです。

「ころころならないように」
「端っこはちょっとだけ切るわ」
左手は猫さんの手でどきどきしながら
慎重に慎重に…！

いただきまーす！この日のお昼は夏野菜カレーとみんなが切ってくれたきゅうりの浅漬け。
小学生や先生たちにもおすそ分けして「おいしい」「おかわりください」とみんなパクパク大人気でした。自分達で育てた野菜を料理して食べるのはとても楽しかったようで、また包丁使ってやってみたいと言ってくれる子ども達がたくさんいてよい経験になりました。
これからもやってみたいと思う気持ちを大切に様々なことにチャレンジしていければと思います。

８月のお誕生日ケーキ

おやつのフルーツポンチ

ピーマン

９月の献立　旬の野菜

かぼちゃ	しめじ	さつまいも
ぶどう	まいたけ	梨

９月に予定している食育活動

・五平餅づくり（手作りした味噌を使って）
・きのこご飯に入れる、まいたけ、しめじをさく　・手作りの梅干しを使ったクッキング
・ずんだもち（ずんだあん作り）　・たこやき（子どもたちと計画中）

おしらせ

・９月７日（木）～１５日（金）は敬老週間です。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒におやつを食べたりゆったりとした時間を過ごして頂きたいと思います。お会いできることを楽しみにお待ちしています。
９月４日～１６日
神戸女子短期大学より実習生　１名
・２０日　クラルテの人形劇を鑑賞します
・２１日　子育て支援事業の取材に保育協会の方が来られます。
・２２日　消防署立会い訓練をします

こんなことしたよ♪

８月のお誕生日会では８月生まれのお友だちをお祝いしました。
出し物ではセミの鳴き声クイズをしました。毎日園庭でセミ探しをしている子どもたちはさすが！セミの鳴き声を聞いて種類を当てて大盛り上がりでした。

８月30日は同園会がありました。小学１年生から小学６年生までの５１名の卒園児が参加してくれました。園庭でゼリー流しを遠方からしたり、オリニギリ体験もみんなで行いました。遠方から参加してくれたり、卒園後に生まれた弟や妹を連れてきてくれたりと嬉しいことが盛りだくさんでした。

夏野菜のトマト・きゅうり・ピーマンを子どもたちと一緒に育ててきました。子どもたちが毎日「おおきくなあれ」と優しく声を掛けながらお世話をしたおかげでたくさんの実がなりました。野菜を収穫し、各クラスで調理をして食べました。自分たちで育てた野菜はとてもおいしく感じました。

お願い

・プール遊びは終わりますが、シャワーの有無などの健康調査票への記入を忘れずお願いします。記入漏れがありますと、園外保育に参加できない場合もあります。必ず、検温、降園予定時間、迎えの予定者の記入をしてください。
・お天気の良い時は園外保育に出かけます。必ず運動靴で登園してください。名前の記入・サイズの確認もお願いします。
・諸経費のお預けはできるだけ、お迎え時にお願いします。
・薬の投薬が増えています。「たいせつなこと」でもお願いしていますようにできるだけ、１日２回の処方で調整してもらえるようかかりつけ医に依頼して下さい。

≪９月の予定≫

７日～１５日　敬老週間
１４日（木）だいち大谷美術館へ（午後）
～ボローニャ国際絵本原画鑑賞
２０日（水）人形劇観劇会（クラルテ）
２２日（金）消防署立会い訓練
～消防自動車見学
２６日（火）誕生日会
２９日（金）月例健診

１３・２７日（水）絵画
７・１４・２１・２８日（木）体操
＊体操服の着用をお願いします。

≪１０月の予定≫

１４日（土）うんどう発表会
２０日（金）つぼみ～だいち親子バス遠足
めばえ・ふたばお弁当日
＊全クラスお弁当日となります。